



2023年12月13日

日本鉄道労働組合連合会

## JR連合「医療連絡会」が初の部外交流～ 基幹労連・病院連絡会「日本鋼管病院労組」との情報交換を開催！

11月29日、JR連合「医療連絡会」は都内で、基幹労連「病院連絡会」の一員である日本鋼管病院労働組合の執行部の皆さんとの間で、情報交換を目的とした交流会を開催した。

JR連合「医療連絡会」からは、梅村昌人代表幹事（JR西労組・医療部会長）と山根唯副代表幹事（JR東海ユニオン病院総支部）が参画し、加えてJR東海ユニオンから井形優介中央執行委員、JR西労組から杉野晴崇中央執行委員、JR九州労組から花田祐希中央執行委員、JR連合から政所大祐事務局局長および住吉一家労働政策局長（「医療連絡会」事務局）が参画した。



これまでJR連合「医療連絡会」は、例年の取り組みとして各単組の医療・介護関係者による情報交換や政府への要望事項等の集約を行う活動を行ってきただが、コロナ禍を経て、よりきめ細やかに組合員のニーズや課題認識を把握し労働条件や地位の向上に繋げていくことを強く意識し、2023

年度の活動方針より「部外の医療・介護関係従事者や団体等との交流機会」を設定し、様々な知見を得て活動に反映していくこととした。今回は、基幹労連の協力を得て実現した初めての部外交流となり、双方から同規模の企業立病院関係者が集う形となったことから、実務や現場実態にかかる極めて有意義な情報交換の機会となった。

双方から、組織の紹介とともに課題認識を紹介・共有した。要員配置・人手不足や、教育活動の在り方、ハラスメント対策、労働時間や宿直等の勤務にかかる課題、各種労働条件・環境の整備にかかる課題のほか、他組織における活動の知恵や工夫などについても意見交換を行い、多くの学びを得た。

今後は、様々な職種の組合員の参画も求め、意見交換を深める活動など、継続的な取り組みを行っていくことを相互に確認し終了した。

